

サマスタ

SUMMER STUDIO

2015

2015

7.18(sat)  
START!

—  
幅広い分野の  
学生を募集中！  
—

ランドスケープ・建築  
都市計画・土木・観光  
経済・経営 など

東京のコンテクストを読む  
東京に潜む  
マラソンコースの提案

2015年テーマ

公益社団法人 日本造園学会関東支部

第11回 学生デザインワークショップ

サマースタジオ2015

主催：公益社団法人 日本造園学会関東支部

共催：「TOKYO GREEN 2020」推進会議（構成団体：公益財団法人都市緑化機構、公益社団法人園芸文化協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、NPO 法人屋上開発研究会）

協力：特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー 後援：国土交通省・東京都

# SUMMER STUDIO 2015

## 開催趣旨

2005年から始まった学生デザインワークショップは、昨年で丸10年を迎えました。

第1回～第5回では、首都圏における都市の生活環境に対する個々の課題に対し提案しました。

超長期的な時間を意識した提案を求めた第6回～第10回では、2011年の東日本大震災を受け、被災地の調査、そして3年間に渡り福島県石川町をフィールドに具体的な震災復興のありかたを町と共に考え、提案しました。石川町での活動は、私たちにとって貴重な体験となり、また、社会から大きな反響がありました。造園に携わる者として、震災に対し何ができるのか、これからも考え続けることは重要です。

節目となる2015年の第11回目からは、視点を変え、来る2020年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「世界都市東京」の将来像を提案していきます。世界的に都市への人口集中が起こっており、都市の課題を解決することは社会的インパクト大です。現在だけでなく2020年以降未来まで目を向ければ、高齢化・人口

減少など、かつて人口爆発が起こった時代の都市開発とは異なる課題が山積しています。パラダイムシフトが起きた社会に対し、これからの都市のあるべき姿を発信しましょう。

2015年は、現在設定されている2020年東京オリンピックのマラソンコースを手掛かりに東京の将来を考えます。42.195kmの長さを持つマラソンコースは、都市の中を巡ります。TVカメラで捉えられるマラソン選手たちの背景には街並みが映り込み、その都市景観は世界に向かって発信されます。

東京を世界に向けて発信するためには、どこがマラソンコースとしてふさわしいか、また、そのコースはどんな空間であるべきか提案してください。

まずは、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、東京が世界に向けて何をプレゼンテーションしていくべきか考え提案しましょう。また、オリンピック後のレガシープランも忘れてはなりません。都市景観は都市における人々の想いや活動の集積が顕在化したものだとすると、マラソンコースを都市の本質を切り出すナイフのようなものとして捉えることができるでしょう。

## 対象地

### 東京都内における 2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技予定エリアとその周辺

#### スケジュール

7月18日(土)	#1 ミーティング (場所: 東京農業大学)
8月8日(土)～ 15日(土)	#2 ミーティング コアワーキングウィーク (場所: 味の素ナショナルトレーニングセンター、東京農業大学)
8月22日(土)	#3 ミーティング (場所: 東京農業大学)
9月12日(土)	#4 ミーティング (場所: 東京農業大学)
11月22日(日)	日本造園学会関東支部大会にて発表
12月	関係者へのプレゼンテーション (予定)

#### ゲストコメンテーター

福岡孝則	神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 特命准教授 Fb Landscape 代表 (ランドスケープデザイン)
鈴木俊治	ハーツ環境デザイン代表、明治大学 客員教授 (アーバンデザイン、住民参加型まちづくり)
後藤光将	明治大学政治経済学部 准教授 日本オリンピック・アカデミー理事 (体育・スポーツ史、オリンピック教育)

#### 話題提供者

竹内智子	東京都 建設局 公園緑地部計画課 総括課長代理
町田誠	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
田中伸彦	東海大学観光学部観光学科 教授
スポーツ分野の関係者	(スポーツ選手の方で調整中)

## 応募方法

### 学生 締切 2015年7月10日(金) 必着

資格	大学学部生・大学院生・研究生 (学校・学部・学年・居住地域は問わない)
レポート	下記内容をEメールにて担当事務局宛にお送りください。 レポートはチーム編成の検討資料となります。(形式自由)
	1) 学校・学部・学年・氏名・Eメールアドレス(PC用) 2) 以下に対する意見レポート (a・b含む合計500字程度) a. テーマに沿ったマラソンコースのアイデアと問題意識 b. 学生デザインワークショップへの参加動機
参加費	3,000円

### チューター 締切 2015年7月10日(金) 必着

資格	ランドスケープデザインに関連する実務に携わっている方。 登録ランドスケープアーキテクト (RLA) 有資格者が望ましい。実務年数3~5年以上。
募集条件	原則として、ミーティング・講演会・発表会へ参加してください。諸事変更に関しては、チューターと担当事務局にて調整します。また、上記以外にも学生の指導に時間を割いて頂くことになります。ご協力をお願いします。
応募方法	下記内容をEメールにて担当事務局宛にお送りください。 氏名・所属・連絡先住所・電話・Eメールアドレス 出身大学・専攻(学部)・実務年数・主な実績・資格

造園 CPD を  
20 単位申請可能です

※10人程度の方をお願いしたいと考えています。  
超過した場合には、調整させて頂く場合がございます。

問合せ 申込先	担当事務局 (株) 竹中工務店内 向山雅之 (関東支部運営委員) E-mail: ss2015.jila.kanto@gmail.com 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 TEL: 03 6810 5009 (内線 4975) FAX: 03 6660 6092
------------	---

